

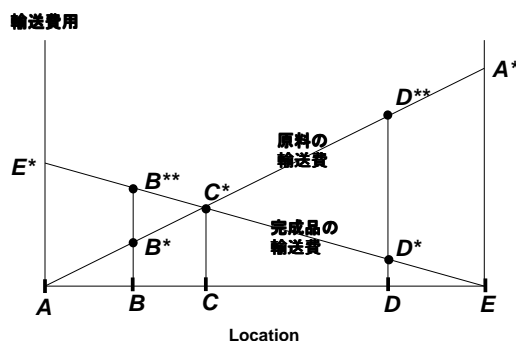
『都市の経済学 小テスト No. 1』

以下の各問に答えよ。ただし、解答はマークシート方式となっているので、問題の解答番号に入る数値または選択肢番号を解答用紙（マークシート）に解答すること。

※で囲まれた数字は解答番号を示す。で囲まれた数字は選択肢番号を示す。

1. The one input, the one market model について

ある企業は、原料を入手し、加工して、完成品を生産している。この企業は、図の点 A で原料を入手することができ、点 E で完成品を売却することが出来る。図の AA* は原料を輸送するときの費用曲線を表し、E*E は完成品を輸送するときの費用曲線を表す。



- 1.1. この企業が点 D に立地し、原料を加工した場合、原料の輸送費用はいくらになるか？1 (①DD*、②DD**、③D*D**、④2DD*、⑤その他)
- 1.2. この企業が点 B に立地し、原料を加工した場合、完成品の輸送費用はいくらになるか？2 (①BB*、②BB**、③B*B**、④2BB*、⑤その他)
- 1.3. この企業が点 C に立地し、原料を加工した場合、総輸送費用はいくらになるか？3 (①CC*、②CD、③2CC*、④2CD、⑤その他)
- 1.4. この企業が利用する原料の重さと完成品の重さを比較すると4 (①完成品が重い、②原料が重い、③同じ重さ、④不明)
- 1.5. この企業は費用を最小化するためにはどこに立地すればよいか？5 (①点 A、②点 B、③点 C、④点 D、⑤点 E、⑥その他)

2. 都市経済学と住宅問題について

- 2.1. 先進国において都市化の最も早く進んでいた国は (6: ①イギリス、②フランス、③米国、④日本) である。
- 2.2. 都市化は、郊外部が (7: ①拡大、②縮小、③後進) していくことと等しい。
- 2.3. 日本の都市化を DID の変化で検討すると、都市化への変化が最も大きかった年代は (8: ①1960年代、②1970年代、③1980年代、④1990年代、⑤2000年以降) である。この時期の日本経済は、(9: ①オイルショック、②デフレ経済、③バブル景気、④バブル崩壊、⑤高度経済成長) を経験している。
- 2.4. 都市化は、人口密度が (10: ①失われる、②減少する、③上昇する) 結果、土地利用の (11: ①普遍化、②高密度化、③初期化) を進めることとなる。その結果、住宅不足・地価高騰・長時間通勤などの住宅にまつわる様々な問題が発生し、その対策として住宅・土地に関わる様々な政策が導入されることとなる。このように、住宅に関連する問題は都市の (12: ①衰退、②多様性、③発展) と関係しており、都市について学ぶことは住宅問題の理解を深めることになる。